

ただ今、議案となっております議案1号から7号の一般会計予算並びに特別会計予算、水道事業会計予算及び下水道事業会計予算の7件に対して賛成の立場で討論いたします。

令和4年の一般会計予算規模は約531億7,100万円となり、令和3年度の当初予算と比較すると過去最大の予算規模となっております。

主な歳出増加の原因は、国及び市の新型コロナウイルス感染症対策費の増に加え社会保障関係費が増となっていることです。

一方の歳入については、令和3年当初予算で約11億円の減収を見込まれていましたが、個人及び法人市民税や固定資産税、軽自動車税、たばこ税の増等を含め当初の減収ほどの落ち込みを回避することが出来ました。

ですが、令和2年度決算比では、約3億6,000万円の減収見込みとなっておりコロナ禍前の状況までは回復が見込めておらず一般財源の確保が厳しい中での予算編成となりました。

それらを踏まえ、歳出について見てみると、新型コロナウイルスワクチン接種に関わる経費や、国の住民税非課税世帯に関する臨時特別給付金等の計上に加え、子ども館整備事業費や子ども医療費助成拡充や福田体育館の耐震化の大規模改修を加えた整備を実施する為の設計業務に関わる経費や七光台小学校や山崎小学校のトイレ改修工事や小学校4校の設計委託料の計上がされています。誰もがこのコロナ禍の中で少しでも安心して生活ができることを期待し、さらには、子供からの要望が多かったトイレの改修や学校施設の整備によって今後、子供たちが楽しく安心して学校生活を送れることを期待します。ですが、土曜授業に関しては、子供たちの学習のモチベーション、教員の指導に対するモチベーションが下がっていると考えております。授業そのものの見直しをしていただきたいと要望いたします。

また、新たな財源の確保として、市の公共施設8施設にネーミングライツの導入や市の魅力発信強化のためのシティープロモーション事業費、空き店舗の活用支援事業費の計上がなされております。この計上によって今後の街の魅力発信強化と空き店舗だけではなく空き家等の解消に期待し賑わいを取り戻す街へと発展することを期待いたします。

学校教育振興費として、中学の部活動指導委員として4人から6人配置となり、今後の部活動が生徒たちの貴重な時間となること、そして教員の負担軽減になることを期待いたします。

鈴木貫太郎記念館管理運営費として、記念館が所蔵する絵画資料について、油絵3点等の修復費計上がされておりますが、今後も修復のための財源確保と貫太郎翁の功績と歴史について多くの方に知ってもらえる機会を増やしていくことと、再建に向けた取組に対しては、単独で施設を新設するのか、関宿城博物館

等も視野に入れ統合していくのかも考えて再建に向けて取り組んでいただきたいと要望いたします。

また、高齢者がスマートフォンやインターネットを安全に使用するための知識を習得するための計上により、高齢者スマホの使い方講座等で、コロナ対策、防災等の市からの情報を取得でき、安心して日常をおくることができることを期待します。また、公民館における公衆無線LANを整備する費用が計上されており新しい生活様式に対応した取り組みによって、市民の利便性向上に大いに期待しています。

次に水道事業においては、今月 22 日に水道部敷地内へ移転することで、業務形態は、収納や徴収関連業務のみならず、新たに給水装置工事業務、漏水等の業務も請負うことになっています。今後の水道事業においては、さらなるサービス向上に期待しています。

最後に下水道事業においては、企業会計になって約 3 年というお話がされておりましたが、企業会計の事務作業が慣れない中で、大変な苦労があったかと思えます。ですが、これを機に下水に対する気運が高まったというお声をきいて安堵しています。

財源が厳しい中、そして思うように動けないコロナ禍の中での予算編成はとても大変だったと思います。それにも関わらず、市民 1 人 1 人に寄り添った予算編成であると判断いたしまして、全ての予算、一般会計予算、特別会計予算、水道、下水道事業会計予算に対して賛成討論といたします。